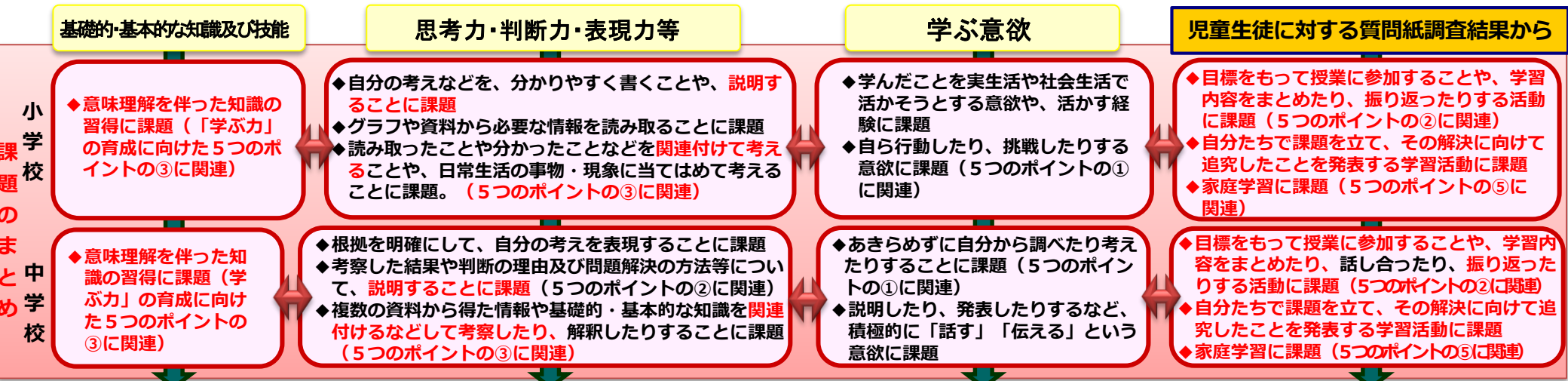


平成26年度 札幌市学習実現状況調査  
平成27年度 全国学力・学習状況調査

## 分析のまとめと改善策

平成27年12月  
札幌市教育委員会



## ■各学校の創意工夫による指導方法等の工夫改善～「学ぶ力」育成プログラムの活用

### ●「学ぶ力」育成プログラムの作成・実行・改善（PDCAサイクルによる検証改善）

- 全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた「学ぶ力」育成プログラムの作成（H26年度～） \* 各学校のHPIに掲載
- 「学ぶ力」育成プログラムの改善に向けた校内研修の充実 \* 「学ぶ力」の育成に向けた取組…5つのポイントを活用
  - ・指導主事による助言機会の拡充
  - ・研究開発事業における研修プログラム等の実践例の普及
  - ・校内研究の代表者に向けた研修会（札幌研事業 校内研究推進会議）

## ■全市での「課題探究的な学習の推進」

取組例

- 小学校における授業改善（きめ細かな指導）
  - 学ぶ意欲と論理的思考力を高める少人数指導の充実
  - モデル事業を推進（H28年度～）→算数における学習モデルの開発（ICT活用）

取組例

- 中学校における授業改善（課題探究的な学習）
  - 課題探究的な学習の充実
  - 学校図書館司書を活用した学習モデルの開発（配置校H27:10校⇒H28:30校）

## ■指導資料・家庭への啓発等の充実

- 「家庭学習のススメ(仮称)」の発行
  - 「生活を自らコントロールする力」の育成（学習習慣づくり・生活習慣づくり）に向けた情報発信を充実
  - 「学ぶ力」の育成推進協議会（委員：保護者、有識者、校長等）を開催し、「家庭学習のススメ(仮称)」による普及啓発について検討

○札幌市学習実現状況調査から明らかになった効果的な「学ぶ方法」について啓発

- 「専科指導の手引」(H28年3月発行予定)の活用により、教員の得意分野を生かした指導を充実

- 中学校「教育課程編成の手引」(H28年2月発行予定)の活用により課題探究的な学習を充実

重点

- ・各教科・領域における「課題探究的な学習」の考え方と指導展開例
- ・評価に関する具体的事例（「関心・意欲・態度」「思考力・判断力・表現力」）



## 教科に関する調査結果から

◆国語及び算数の問題A・B、理科の問題のいずれも、全国平均正答率と「ほぼ同程度」

※問題A...主として「知識」に関する問題、問題B...主として「活用」に関する問題  
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

平成二十七年全国学力・学習状況調査

国語

### 基礎的・基本的な知識及び技能

- ◆学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書くこと。
- ◆話の内容に関する聞き方を工夫すること。

### 思考力・判断力・表現力等

- ◆図表やグラフなどを用いる方法やその効果を理解し、それらを効果的に用いて説明的な文章を書くこと。
- ◆新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること。
- ◆文章と図とを関連付けて、自分の考えを書くこと。

### 学ぶ意欲

- ◆「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。」という質問では、肯定的に回答した割合が全国平均より低い状況。

算数

- ◆異分母の分数の計算をすることや、概数を目的に応じて用いること。
- ◆百分率について理解すること。
- ◆図や数直線に表す活動等を通して、示された情報から基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えること。

- ◆学習や日常の事象から、図形の性質を見出し、説明すること。
- ◆測定の結果についての見当を付けたり、日常の事象と関連付けて考えたりすること。

- ◆「算数の授業の内容はよく分かりますか。」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」という質問では、肯定的に回答した割合が全国平均より低い状況。

理科

- ◆メダカの雌雄を見分ける方法を理解すること。
- ◆様々な機会を通して観察したり、実験用具を使用したりすること。

- ◆事物・現象をじっくりと観察したり、予想や考察を実験から得た具体的な数値と結び付けながら考えたりすること。
- ◆学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活の事物・現象に当てはめて考えること。

- ◆「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。」「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という質問では、肯定的に回答した割合が全国平均より低い状況。

## 児童に対する質問紙調査結果から

【学ぶ方法に関する設問から、全国と比較して肯定的な回答の少ないものを抜粋】

- ◆授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う子どもの割合
- ◆授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う子どもの割合
- ◆授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う子どもの割合
- ◆授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う子どもの割合

【家庭学習に関する設問】

- ◆家で、学校の授業の予習をしている子どもの割合（約50%）
- ◆家で、学校の授業の復習をしている子どもの割合（約60%）

平成二十六年度札幌市学習実況調査

◆社会における教科全体の通過率は設定通過率を「下回っている」

※「ほぼ同程度」は、設定通過率と比較して±3ポイントの範囲内。

- ◆日本や主な国の位置関係について理解すること。
- ◆日本の地形や海流の特徴について理解すること。

- ◆日本の水産業について、グラフや統計資料を読み取り、特色などについて考えること。
- ◆国内生産量と輸入量の関係など、複数の資料を結び付けて、必要な情報を読み取ること。

- ◆「社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている」「社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもっている」ことが、教科学力との関わりが大きい。

【「学ぶ方法」のうち教科学力と関係が大きいもの】

- ◆「調べたことを、パソコンを使ってまとめたり発表したりする」
- ◆「調べたわかったことをもとに、考えをまとめる」
- ◆「授業中、自分の意見を進んで発言している」
- ◆「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝える」
- ◆「筋道を立てて、ものごとを考える」

課題のまとめ

- ◆意味理解を伴った知識の習得に課題（「学ぶ力」の育成に向けた5つのポイントの③に関連）

- ◆自分の考えなどを、分かりやすく書くことや、説明することに課題
- ◆グラフや資料から必要な情報を読み取ることに課題
- ◆読み取ったことや分かったことなどを関連付けて考えることや、日常生活の事物・現象に当てはめて考えることに課題。（5つのポイントの③に関連）

- ◆学んだことを実生活や社会生活で活かそうとする意欲や、活かす経験に課題
- ◆自ら行動したり、挑戦したりする意欲に課題（5つのポイントの④に関連）

- ◆目標をもって授業に参加することや、学習内容をまとめたり、振り返ったりする活動に課題（5つのポイントの②に関連）
- ◆自分たちで課題を立て、その解決に向けて追究したことを発表する学習活動に課題
- ◆家庭学習に課題（5つのポイントの⑤に関連）

## 教科に関する調査結果から

◆国語及び数学の問題A・B、理科の問題のいずれも、全国平均正答率と「ほぼ同程度」

※問題A...主として「知識」に関する問題、問題B...主として「活用」に関する問題  
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

## 生徒に対する質問紙調査結果から

【学ぶ方法に係る設問から、全国と比較して肯定的な回答の少ないものを抜粋】

- ◆授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う子どもの割合
- ◆授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う子どもの割合
- ◆授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う子どもの割合
- ◆授業で、話し合う活動をよく行っていたと思う子どもの割合
- ◆授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う子どもの割合

【家庭学習に係る設問】

- ◆家で、学校の授業の予習をしている子どもの割合（約40%）
- ◆家で、学校の授業の復習をしている子どもの割合（約50%）

【「学ぶ方法」のうち教科学力と関係が大きいもの】

- ◆「分からないことは自分で調べる」
- ◆「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力する」
- ◆「授業で習ったことは、理由や考え方も一緒に理解する」
- ◆「意見の違う人ともよく話し合う」
- ◆「理由をはっきりさせて意見を書く」
- ◆「調べて分かったことをもとに考えをまとめる」

平成二十七年全国学力・学習状況調査

国語

### 基礎的・基本的な知識及び技能

- ◆文脈に即して漢字を正しく書くこと。
- ◆単語の類別について理解すること。

数学

- ◆数量の関係を文字式に表すこと。

理科

- ◆動物の生活と生物の変遷における魚類について、背骨のある動物としての名称を理解すること。

### 思考力・判断力・表現力等

- ◆複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと。
- ◆文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと。

- ◆事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること。
- ◆図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明すること。
- ◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

- ◆電流と磁界における電磁誘導を利用した技術の仕組みを示す場面において、基礎的・基本的な知識を活用して、実験結果を説明すること。
- ◆身の回りの物質において、水に物質が溶ける量について、観察・実験の結果を溶解度と結び付けて分析、解釈すること。
- ◆気象とその変化における自然事象について、その原因を探るために、予想を基に検証する実験を計画すること。

### 学ぶ意欲

- ◆「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均より低い状況。

- ◆「数学の勉強は大切だと思いますか」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均より低い状況。

- ◆「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、発表したりしていますか」「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均より低い状況。

- ◆社会における教科全体の通過率は設定通過率と「ほぼ同程度」
- ◆英語における教科全体の通過率は設定通過率と「ほぼ同程度」

※「ほぼ同程度」は、設定通過率と比較して±3ポイントの範囲内。

社会

- ◆日本の諸地域の地域的特色を理解すること。
- ◆文化の面から、各時代の特色の理解すること。

- ◆日本の諸地域について、それぞれの地域的特色を動的に考察すること。
- ◆歴史的事象の背景や理由について考察し、理解すること。

- ◆「社会の学習内容で分からないことや疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている」ことなどが、教科学力との関わりが大きい。

英語

- ◆まとまった英文を読み、内容を理解すること。
- ◆英語による対話文や説明を聞き、内容を理解すること。

- ◆場面や状況に合った適切な表現を考え、英語で書くこと。

- ◆「文章全体のおおよその内容を理解する学習のとき、理解できない単語があっても、あきらめずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりしている」ことなどが、教科学力との関わりが大きい。

課題のまとめ

- ◆意味理解を伴った知識の習得に課題（学ぶ力の育成に向けた5つのポイントの③に関連）

- ◆根拠を明確にして、自分の考えを表現することに課題
- ◆考察した結果や判断の理由及び問題解決の方法等について、説明することに課題（5つのポイントの②に関連）
- ◆複数の資料から得た情報や基礎的・基本的な知識を関連付けるなどして考察したり、解釈したりすることに課題（5つのポイントの③に関連）

- ◆あきらめずに自分から調べたり考えたりすることに課題（5つのポイントの①に関連）
- ◆説明したり、発表したりするなど、積極的に「話す」「伝える」という意欲に課題

- ◆目標をもって授業に参加することや、学習内容をまとめたり、話し合ったり、振り返ったりする活動に課題（5つのポイントの②に関連）
- ◆自分たちで課題を立て、その解決に向けて追究したことを発表する学習活動に課題
- ◆家庭学習に課題（5つのポイントの⑤に関連）

◇「札幌の成果と課題」を踏まえ、以下の三点を重視して学校での学びを改善していく必要がある。  
 ○子どもが、学ぶことの意義や楽しさを感じ取り、自ら学び続けようとする意欲をもつこと  
 ○子どもが、自ら考えたり表現したりするなどの多様な学びを経験し、身に付けること  
 ○子どもが、学び続けるための基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、新たな学びに自信をもって挑戦していけるようになること

◇学校での学びの質を高め、家庭とも一体となって「学ぶ力」をはぐくむことを目指して「さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン」を実施していく。

## 平成27年度 さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン

「札幌市教育振興基本計画」(H26年度～)に位置付けて推進

SAPP  
RO

### ◆分かる・できる・楽しい「授業づくり」の充実

#### 「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

○体験的な活動や言語活動、問題解決的な学習活動等を取り入れた授業の工夫改善を図る。

#### 学ぶ意欲の向上

#### 「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実

○児童生徒の実態に応じて、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう、個に応じた指導の充実を図る。

### 5つのポイント

1 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

2 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。

3 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。

4 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。

5 生活を自らコントロールする力を育みます。

### 各学校が「学ぶ力」の育成プログラムを改訂し実行

○各学校が、自校の児童生徒の「学ぶ力」の実現状況を踏まえて、指導方法等の課題を明確化し、改善に向けて作成したプログラムの改訂、実行に取り組む。(教育課程等への位置付け、指導方法の改善など)

教員の指導力向上に向けた施策

具体的な改善策について教育委員会が支援

#### 札幌市教育センター研修事業

○授業づくりに関する**研修の充実**  
・実効性の高い研修の充実  
・指導資料等の積極的な活用

#### 札幌市教育研究推進事業

○「分かる・できる・楽しい授業」に関する**研究の推進**  
・教職員の協働による授業づくりに関する実践的研究の推進  
・研究・研修の成果の発信

#### 教育課程研究協議会・説明会等

○「分かる・できる・楽しい授業」の**在り方を協議**  
・事例の共有  
・研究開発事業の成果発信等

#### 札幌市研究開発事業

○指導方法等の**モデル事例開発**  
・研究推進校によるモデル事例の開発  
・モデル事例の共有と活用

### ◆学校、家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」の推進

#### 情報発信の充実

##### ○家庭、地域への情報発信を充実

※家庭や地域との共通理解のもとで「学ぶ力」の育成に向けた取組を推進  
 ・「札幌市教育フォーラム」の開催(H25.10.29/H26.2.26)  
 ・さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プランリーフレット作成・配布  
 ・札幌市PTA協議会との連携  
 ・広報活動の充実・工夫

#### 「学ぶ力」の育成推進協議会

##### ○「学ぶ力」の育成に向けた取組について意見交換

※会議メンバー：保護者代表、大学教授、校長、教員等  
 ・学校、家庭が一体となって、子どもへ働きかける  
 さっぽろっ子「学びの習慣10項目(仮)」を検討し提案、家庭向け「**家庭学習のススメ(仮)**」の提案など  
 ・家庭での読書習慣づくりの促進と朝読書の充実  
 ・ICTの活用、学生ボランティアの活用などの環境整備

#### 校長会との連携強化

##### ○双方向による「学ぶ力」の育成

※校長会との多様な機会における双方向の連携を強化  
 ・「学ぶ力」の育成に向けた協議  
 ・校長会への情報提供、啓発、助言  
 ・さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プランリーフレットの検討  
 ・各学校の研修会等の充実

### 子どもの自己評価を生かした「学ぶ力」の評価と指導の改善 ～20の指標～

○教育施策や教育指導の改善に反映するため、**札幌市全体の共通指標を設定し、子どもの学習状況等を把握するとともに、分析する。** ※各種調査結果+子どもの自己評価

①授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。②分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている。③勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある。④意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。⑤今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか分かっている。⑥勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている。⑦新しく習ったことは、くり返し練習をしている。⑧普段から、計画を立てて勉強している。⑨分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。⑩意見を書くときには、その理由をはつきりさせて書くようにしている。⑪意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。⑫授業中、自分の意見を進んで発言している。⑬授業中、友達や先生の説明、意見を終わりで聞いている。⑭人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。⑮習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。⑯学校で好きな授業がある。⑰授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。⑱困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。⑲外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)⑳札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)

改善

検証改善

検証改善サイクルの確立

評価